

2004年に販売を開始した4ストローク OHCユニカム4バルブエンジンを搭載したCRF250Rは、その扱いやすいパワーと素直な操縦安定性により、多くのお客様からの絶大な支持を受けてまいりました。

2010年型モデルでは、更なる戦闘力アップと扱い易さを高い次元でバランスさせることを目標に開発を行いました。

開発コンセプトは、「最強のパワーを意のままに」

この目標を現実のものとするために、

- ・ 先進性
- ・ 意のまま
- ・ 最強のパワー
- ・ 軽量

この4項目について、それぞれのテーマを設け開発を行いました。

- ・ 先進性 外観デザインはエルゴノミクスデザイン
超軽量バッテリーレス PGM-FI システム
- ・ 意のまま マスの集中、低重心化
加速力重視ジオメトリー
安定性と旋回性の高次元バランス
- ・ 最強のパワー クラス最高のエンジン出力
パワーウエイトレシオ No.1
- ・ 軽量 クラス最軽量

これらの目標を達成した2010年型 CRF250R は、他車の追随を許さない進化をとげました。

